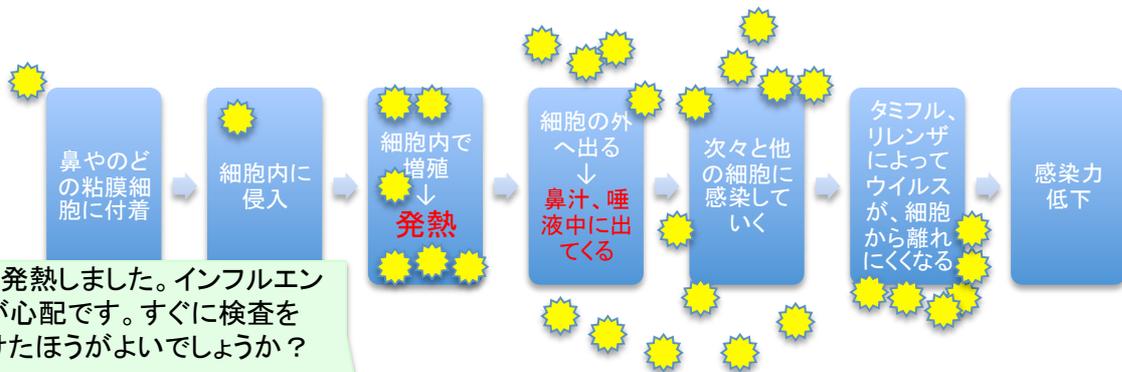
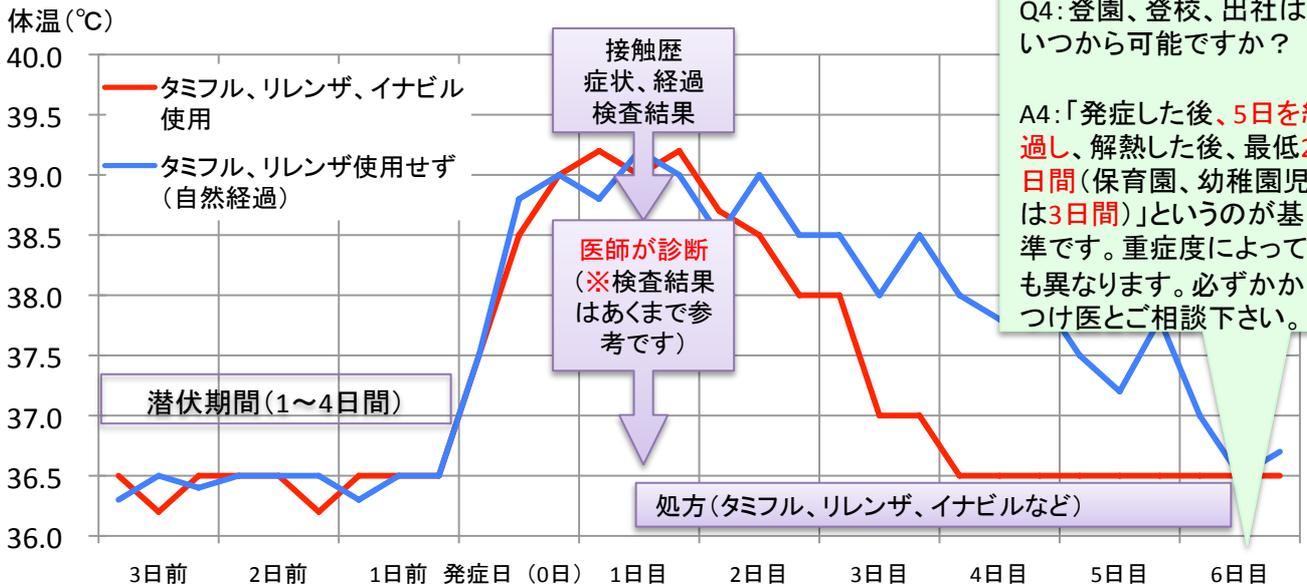


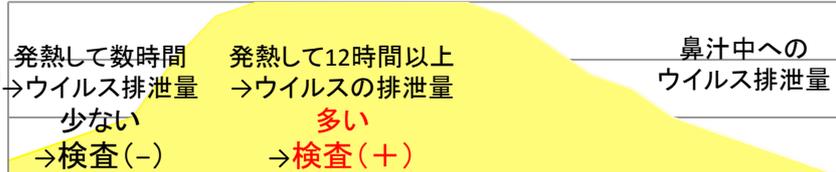
# インフルエンザについて…患者さんに知っておいてほしいことをまとめました。



Q1: 発熱しました。インフルエンザが心配です。すぐに検査を受けたほうがよいでしょうか？

A1: 発熱して3~4時間で検査しても陽性になる確率は低いので、**38°C以上となって12時間くらいしてから**の検査をお勧めします。

呼吸困難、意識障害といった**重い症状がなければ、夜間救急をあわてて受診する必要はなく、翌日受診で大丈夫です。**



※幼児はウイルスの排泄期間が長く、解熱後2日間では安心できません。1~2日間長く休んで下さい

Q2: インフルエンザと診断されました。経過中に注意する症状は？

A2: 以下の症状に注意して下さい → 脳症や肺炎の初期症状の可能性が有ります。

- 意識レベルの低下: 呼びかけに反応しない
- けいれんが10分以上続く(止まらない、繰り返す)
- 意味不明の言動がみられる
- 呼吸困難(息苦しい)
- 顔色が悪い(熱があるのに白っぽい)、チアノーゼ(口唇の色が青っぽい)
- 頻回の嘔吐
- いったん解熱したが再び発熱し、咳が悪化

Q3: タミフル、リレンザを開始して2日で熱が下がりました。もう、やめてもよいでしょうか？

A3: 処方された5日間最後まで続けて下さい。熱が下がってもよくなってただけで完治したわけではありません。ウイルスはまだ排泄されており、周囲に感染する可能性があります。